

『近所のお客様が多い店が、いいお店だ』

文・イラスト 中谷彰宏

text & illustration by Akihiro Nakatani

「旅

先では、どんなお店に行くのですか」と聞かれました。

僕は、「地元の人が行くお店を教えてください」と聞きます。

いいお店と、残念なお店の差があります。

いいお店には、近所のお客様が来ています。

遠くからのお客様ももちろん、ありがたい。

遠くからのお客様は、残念なお店にもいます。

ただ、残念なお店には、近所の人がないのです。

近所の人があるということは、そのお店が本当に行く価値があるということです。

旅先では、2種類のお店があります。地元の人が行くお店と、観光客が行くお店です。

混み具合では、判断ができません。

観光客で賑わっている残念なお店もあるからです。

混んでいるから、いいお店とは限らないのです。

観光客で賑わっているお店は、リピートしません。

地元の方は、もっといいお店があるのにと、内心、気の毒がっています。

「うちは、海外からのお客さんもたくさん来る」というお店より、「近所のお客さんに、可愛がってもらっています」というお店がいいお店です。

サイトを作ること、遠くからのお客様に来ていただくことは可能です。近所のお客様に来てもらうには、よりシビアな基準で、工夫をしなければごまかしがききません。

近所の人に愛されるお店は、遠くから来たお客様も、かならずリピートしてもらえます。

ハワイのザ・カハラホテル&リゾート

ト(旧カハラ・ヒルトン)のメインダイニング「ホクス」には、カハラ地区の別荘に住んでいるネイバーが毎日のように来ています。

グアムのヒルトンの朝食にも、ネイバーがたくさん来ています。

鹿児島城山観光ホテルの朝食のレストランで、まわりから聞こえてくるのは鹿児島弁ばかりです。

最も厳しいお客様は、近所のお客様です。

まず、近所のお客様に愛されるために、隣

のぶんまで掃除をし、ご招待し、騒音など迷惑を

かけないようにしていくことが、近所の人に愛されるいい

お店になる方法

なのです。



Profile

1959年生まれ。主な著作に「セクシーな男、男前な女。」「人脈」を「お金」にかえる勉強」「なぜ、あの人は「本番」に強いのか」他多数。

【中谷塾】で講演活動を行う。詳しくは、HPで。

<http://www.an-web.com/>